

ドイツ語教員養成・研修講座開講のお知らせ

2025年7月

日本独文学会ドイツ語教員養成・研修講座 実行委員会

日本独文学会は、ドイツ語教育部会、東京ドイツ文化センター（Goethe-Institut Tokyo）と共催で、標記講座を開いています。現在開講中の講座は、2025年9月で終了いたします。それに伴い、2025年10月から新しい講座を開講いたします。

なお今回も引き続き、ほぼすべてのワークショップを ZOOM によるオンライン開催とし、会場に集まるワークショップは年1回を目処といたします。全国から多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

講座では、Goethe-Institut の教員養成・研修教材である *Deutsch Lehren Lernen* (DLL) のモジュール4 *Aufgaben, Übungen, Interaktion* を取り入れています。このモジュールを修了した場合、Goethe-Institut で *Grünes Diplom* を取得する際に、既習モジュールとしてカウントされます。

本講座の目標は以下の3点です。講座では、受講者と十分な議論ができる場の形成を目指します。

1. ドイツ語教育を取り巻く状況についての理解を深め、その中に自身の授業を位置づけることができる。
2. 科学知と実践知の双方を基盤に、学習者を中心に据えた授業プランとシラバスを立案・実践することができる。また、実践のふりかえりをもとに、授業を改善していくことができる。
3. 自身の授業実践を客観的に捉え、情報、メディア、協働関係などさまざまなリソースを、教師としての成長に活かすことができる。

講座の構成

1. オンライン授業
2. ワークショップ
 - モジュール方式でテーマを設定し、受講者は課題について Moodle 上で議論するとともに、レポートを担当講師に送り、担当講師からコメントを受信します。
 - モジュール毎に1回開かれるワークショップ（土曜日午後2～6時）では、後半で課題について講師による導入・解説が行われます。それをもとに、受講者はレポートを作成します。次のワークショップの前半で、レポートに関する討論が全体で行われます。
 - ワークショップは、ZOOM によるオンライン開催とします。ただし、年1回は会場に集まってワークショップを行う予定です。

講座の概要

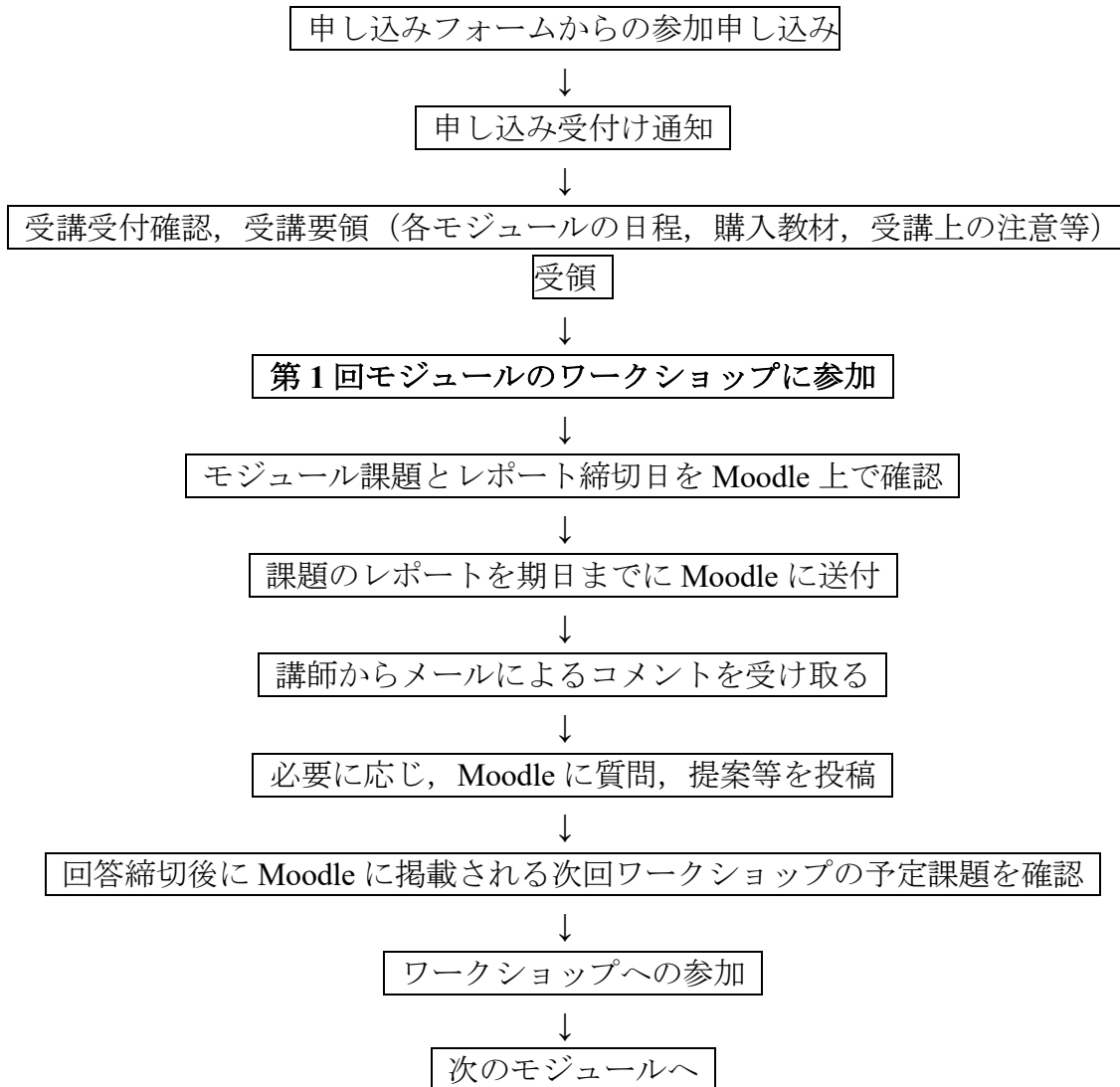
1. 参加資格：日本独文学会会員および教育部会準会員（非会員でご希望の方は委員会までご相談下さい）
2. 期間：2年 ただし1年ごとの参加も可能です。初めての受講の場合には、1年目からの受講のみ可能です。2年目からの受講は、過去に前期講習を受講済みの場合に限ります。
3. 開講：2025年10月
4. 申込み受付：2025年8月1日（金）～9月20日（土）
5. 申込み：以下の申し込みフォームから
<https://forms.gle/BdddSL7CRidGe2Jh6>
もしくは、次のQRコードから、申し込みフォームにアクセスする。



講座参加費（1期1年）：¥30,000（予定；但し、DLL以外の教材費は自己負担。大学院学生は¥3,000割引）

6. 募集参加者数：25名程度
7. 参加証：講座修了後、日本独文学会、ドイツ語教育部会、ゲーテ・インスティテュートの連名で発行。
8. 問い合わせ先：日本独文学会ドイツ語教員養成・研修講座実行委員会：dafkurs-open@jgg.jp
9. 各モジュールのテーマ：別紙参照
10. 授業参観
 - モジュールのひとつである授業参観は、受講者が個別に行います。必要に応じて、受講者には本講座実行委員会が参観可能な教師を斡旋します。
 - 参観に際しては、本講座実行委員または受入教師が **Betreuer*in** となります。
11. 授業内アクションリサーチ
 - *Deutsch Lehren Lernen (DLL)* の一環として、受講者は授業内アクションリサーチ（教師が自らの授業を対象に行う実践的調査研究）を、グループで相談のうえ行います。
 - 授業を担当していない受講者は、授業参観等の代替方法により、同様のアクションリサーチに取り組みます。

受講のチャート（申込みから受講まで）



ドイツ語教員養成・研修講座 プログラム (2025-2027 年 期)

前期 (2025 年 10 月–2026 年 7 月)

ワークシ ョップ	日程	ワークショップとモジュールのテーマ	
		前半	後半
1	10 月	導入：コースへの期待；自身の体験の振り返り	M1: 学習観と教授法の変遷；教科書分析
2	11 月	M1 のレポートの講評と討論	M2: 授業計画，授業目標，シラバス
3	12 月	M2 のレポートの講評と討論	M3: 受容的能力（聴く・読む）
4	1 月	M3 のレポートの講評と討論	M4: 産出的能力（話す・書く）とフィードバック
5	4 月	M4 のレポートの講評と討論	M5: ドイツ語の授業参観；研究授業の準備
6	5 月	M5 のレポートの講評と討論	M6: Lernendenzentrierung（学習者中心）
7	6 月	M6 のレポートの講評と討論	M7: コンピテンシー育成のために必要な教師の能力
8	7 月	M7 のレポートの講評と討論	講座の総括

後期 (2026 年 10 月—2027 年 9 月)

ワークシ ョップ	日程	ワークショップとモジュールのテーマ	
		前半	後半
1	10 月	研究授業レポートの講評	M8: ランデスクンデと異文化理解
2	11 月	M8 のレポートの講評と討論	M9: 様々なメディアと ICT の導入
3	12 月	M9 のレポートの講評と討論	M10: テストと評価
4	1 月	M10 のレポートの講評と討論	M11: 学習者の動機づけと学習ストラテジー
5	4 月	DLL 4 導入ワークショップ	
6	6 月	M11 のレポートの講評と討論	DLL 4, PEP の準備
7	7 月	Praxiserkundungsprojekt (PEP) プレゼンテーション	
8	9 月	講座の総括	